

- 問1 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いため。
 2. 平野部が广大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。
 3. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。
 4. 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。
- 問2 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んですが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
 2. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
 3. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
 4. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
- 問3 沖縄の自然環境に関するレポートにおいて、海岸沿いに生息する樹木の特徴として「潮の満ち引きの影響を受ける場所に発達し、島を波の衝撃から守る役割がある」と説明される植物群があります。この植物群が持つ生態系や防災上の特徴として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 常緑広葉樹の集まりであり、天然の防波堤として海岸線を保護している
 2. 落葉広葉樹の集まりであり、季節による海水の温度変化を調節している
 3. 砂漠地帯に自生する植物であり、海岸の砂の移動を防ぐ役割がある
 4. 針葉樹の集まりであり、強い潮風を受けても折れにくい性質を持っている
- 問4 九州地方の各県を比較した統計において、温泉の源泉数は184と比較的少ないものの、小麦の収穫量が51,800トンに達し、全国でも有数の生産量を誇っている県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 愛知県
 2. 大分県
 3. 沖縄県
 4. 佐賀県
- 問5 日本の諸地域について述べた統計資料において、九州地方に位置し、航空路線の国内線旅客数が約990万人と非常に多く、さらに鉄鋼業の出荷額も高いという特徴を持つ県はどこですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 愛知県
 2. 福岡県
 3. 宮城県
 4. 北海道
- 問6 九州地方を扱った地理の学習において、大分県の特徴をまとめた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。
 2. 九州地方の南東部に位置し、温暖な気候を利用したピーマンやキュウリの促成栽培が行われている。
 3. 九州地方の北部に位置し、北九州工業地帯を中心とした重化学工業が県の経済を支えている。
 4. 九州地方の中央部に位置し、阿蘇山のカルデラや広大な農業地帯での畑作が盛んである。
- 問7 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
 2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
 3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
 4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問8 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため
 2. 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。
 3. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。
 4. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。
- 問9 日本の南西部に位置する沖縄県の行政の中心地であり、県庁所在地となっている都市を選択肢から選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 浜松市
 2. 松本市
 3. 弘前市
 4. 那覇市
- 問10 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 宮崎県
 2. 熊本県
 3. 長崎県
 4. 鹿児島県
- 問11 九州地方の各県の産業的特徴を説明した次の記述のうち、宮崎県に該当するものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. シラス台地が広がる地形を活かして、茶の栽培やサツマイモの生産が全国で最も盛んに行われている。
 2. 都市機能が高度に集積しており、金属製品などの製造業出荷額と宿泊旅行者数の両方で九州最大の規模を誇る。
 3. 大規模な平野部を利用した米作りと、有明海沿岸でののり養殖が産業の中心となっている。
 4. 温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。
- 問12 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。
 2. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。
 3. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。
 4. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。
- 問13 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 壱岐・日本海海流
 2. 壱岐・対馬海流
 3. 対馬・リマン海流
 4. 対馬・対馬海流

答え合わせ・解説

問1	答え 4 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。	鹿児島県の大部分を覆うシラス台地は、火山噴出物が堆積してできたもので、水はけが良すぎるために水を溜めておくことが難しく、古くから稲作には適さない土地でした。そのため、水分をそれほど必要としないサツマイモや茶などの畑作に加え、広い土地を有効に活用できる肉用牛や豚、ブロイラーなどの畜産業が地域の基幹産業として発展しました。
問2	答え 4 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。	福岡県では、官営八幡製鉄所の操業以来、北九州市の沿岸部を中心に鉄鋼業などの重化学工業が発展してきました。しかし、1970年代の石油危機による不況を境に、産業構造の転換が進みました。広大な用地や労働力を求めて、内陸部や県東部に自動車工場が進出したことで、加工組立型の工業が成長し、県全体の産業を支える新たな柱となりました。
問3	答え 1 常緑広葉樹の集まりであり、天然の防波堤として海岸線を保護している	マングローブは亜熱帯の沖縄において重要な自然環境を形成しています。潮の満ち引きがある海岸沿いに生育する常緑広葉樹であり、その密集した樹木と根が波の衝撃を和らげることで、海岸線の浸食を防いだり、高潮から居住地を守ったりする防災機能を備えています。選択肢にある針葉樹や落葉広葉樹の特徴とは異なります。
問4	答え 4 佐賀県	九州地方では、広大な平野部を利用した農業が盛んです。特に佐賀県（佐賀平野）では、夏の米作の後に冬から春にかけて小麦を育てる「二毛作（水田裏作）」が行われており、小麦の収穫量が非常に多いのが特徴です。温泉の源泉数が多い大分県など、他の県の特徴と混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 2 福岡県	福岡県は九州地方の経済や交通の拠点であり、県庁所在地の福岡市は政令指定都市に指定されています。福岡空港は都市部へのアクセスが極めて良く、国内有数の航空路線の旅客数を誇ります。また、北九州工業地帯を擁しており、官営八幡製鉄所の操業以来、現在も鉄鋼業が盛んな地域として知られています。
問6	答え 1 九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。	大分県は、九州の北東部で瀬戸内海に面する位置にあります。日本有数の温泉資源は火山帯の影響によるものであり、これを利用した観光業や地熱発電などは地域の重要な特色となっています。選択肢にある重化学工業は主に福岡県、阿蘇山や広大な畑作は熊本県、促成栽培は宮崎県の特徴です。
問7	答え 1 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問8	答え 2 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。	1970年代に入り高度経済成長が終わりの時期を迎えると、それまで続いていた地方から三大都市圏への大規模な人口流出（移住）が落ち着きました。これに加え、地方における雇用創出の取り組みが実を結んだことで、大分県などの地方都市において人口の増加が見られるようになりました。バブル経済による地価高騰は1980年代後半の出来事であり、時代背景が異なります。
問9	答え 4 那覇市	沖縄県の県庁所在地は那覇市です。那覇市は沖縄本島の南部に位置し、政治・経済・文化の拠点となっています。選択肢にある弘前市（青森県）、浜松市（静岡県）、松本市（長野県）はいずれも各県において重要な都市ですが、県庁所在地ではありません。
問10	答え 2 熊本県	阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。
問11	答え 4 温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。	九州地方南部は、温暖な気候を背景に畜産業が非常に盛んな地域です。特にこの県では、統計においてブロイラーの産出額が700億円を超えるなど、全国でも有数の農業県としての地位を確立しています。一方で、金属製品の出荷額や宿泊旅行者数などの指標では、都市型の産業構造を持つ福岡県とは異なる傾向を示します。
問12	答え 1 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。	九州南部に広く分布するシラス台地は、過去の巨大噴火による火山灰などが積み重なってできたものです。この地層は水はけが非常に良く、水分を保持する力が弱いため、大量の水を必要とする稲作（水田農業）には向いていませんでした。そのため、古くからサツマイモなどの畑作が行われるとともに、広大な土地を活かした豚や肉用牛、鶏などの畜産業が発展し、現在では日本有数の畜産地帯となっています。
問13	答え 4 対馬・対馬海流	九州の北方に位置する対馬は、朝鮮半島との距離が近く、古くから外交や貿易の要衝としての役割を果たしてきました。この対馬の近海を通り、東シナ海から日本海へと北上する暖流は対馬海流と呼ばれます。選択肢にある沓岐は対馬と九州本土の間に位置する島であり、リマン海流は日本海を南下する寒流のことです。